

令和4年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

Table with 6 columns: 施設名称, 所在地, 指定管理者名, 利用料金制適用区分, 選定方法, 設置目的, 主な実施事業等. Includes details for '生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽'.

2 利用実績

Table with 6 columns: 利用区分等, 単位, 予定(計画・目標), 利用実績, 対前年度比, 増減の理由等. Lists utilization data for '入所・短期', '通所リハビリテーション', and '短時間通所リハビリテーション'.

3 事業収支

Table with 4 columns: 事業計画, 事業報告(実績), (参考)前年度実績. Includes sub-rows for 収入計, 支出計, and 事業収支. Includes a '補足説明' section regarding COVID-19 impact.

4 利用者の意見把握状況

Table with 3 columns: 利用者の意見把握の実施の有無, 実施方法, 意見内容等, 対応実績等. Includes a '実施結果' row with feedback on COVID-19 related events.

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	これまでと同様に、個々の利用者の状態に応じた、多職種によるチームケアを行い、在宅復帰率52.1%と非常に高い実績を達成しました。今後も在宅強化型介護老人保健施設として、介護老人保健施設の重要な機能である「在宅復帰施設」としての役割を果たし、地域の身近な存在として、高齢者福祉の発展に努めます。
市の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅復帰率は前年を下回るも、52.1%という高い実績を残し、超強化型介護老人保健施設としての役割を果たしている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	公施設としての公共性、公平性の役割を十分に認識し、施設利用について平等に行われるよう、適正な管理・運営に努めています。また、入退所の判定等、真に支援が必要とする高齢者とその家族に対して平等に行われるよう、多職種によって構成される入所・継続判定委員会を組織し、公平さを高めるようにしています。
市の評価	入退所の判定等については、判定委員会を組織し、公平で適切な運営がされている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	引き続き年2回の利用者アンケート（本年度はコロナ感染によるクラスター発生のため1回）、食事嗜好調査の実施や2箇所に意見箱を設置し、利用者の意見を汲み取り、結果の分析や評価を行い改善策を実施しています。また、苦情等については、相談窓口を設置し、迅速な対応に努めています。
市の評価	利用者アンケート、食事嗜好調査を実施するとともに、施設内2箇所に意見箱を設置するなど、利用者の意見把握に努めている。また、苦情等についても相談窓口を設置し、迅速丁寧に対応している。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	以前より継続して節水バルブの取り付け等による経費の節減に努めています。ただ光熱費の異常高騰への対応につきましては、個々の施設では限界があります。
市の評価	経費節減に努めていただいているが、光熱費の高騰には苦慮されている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	コロナ感染症による利用控えなどがあるなかでも理学療法士などによるリハビリの提供体制を強化した結果、入所の収入に関しては増加いたしました。
市の評価	コロナ禍にあっても、リハビリテーションの提供体制を強化し、収入増加につなげている。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	令和3年度と同様に、コロナ感染症の影響で、これまで開催していた「市民公開セミナー」「小学校からの社会実習の受け入れ」「第三者評価の受審」等が滞っていますが、看護学校や介護の専門学校の実習生を受け入れたりと、優楽の活動内容を纏めた季刊誌を発行し配布するなどして、外部との接触を図ってサービスの質の向上等に取組んでいます。
市の評価	コロナ感染症の影響で、感染対策による制限がかかる中ではあるが、実習生の受け入れや優楽の季刊誌の発行など、地域との連携を図っている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	これまでに通所リハビリテーションに高齢者向けのリハビリマシンを取り入れるなど、介護予防のため新たなプログラムを導入し、多様な要望に応えるようにしました。また、施設入所者の方の室料を、市民の方に限り、低減をさせていただいています。
市の評価	市民サービスの向上に向け通所リハビリテーションの充実を図るなど近隣の利用に配慮した取り組みを行っている。また、市民に限定して施設入所者の方の室料を低減いただくなど市民サービスに配慮いただいている。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止や施設内でクラスターが発生した時の対策のため、感染対策委員会を中心に新型コロナウイルス感染症に特化した感染対策（マニュアル作成等）を徹底しています。また、事故対策委員会を設置し、事故防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順等が実際に機能するように努めています。
市の評価	感染防止対策のため、感染対策委員会を設置し、新型コロナウイルス感染症に特化した感染対策を強化徹底している。また、事故の防止及び事故発生時の対応手順が実際に機能するようマニュアルを整備し危機管理を行っている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	指定管理者による自己評価 コロナ感染症による利用者の減少や光熱費の異常な高騰等により厳しい事業運営となりました。次年度はコロナ感染症禍が落ち着き利用者も戻ってくると予想されますが、引き続き光熱費の高騰が続くと想定されますので、引き締めて適切な管理・運営に取り組んでいくように努めます
	市の評価 コロナ感染症の影響による通所利用者の減少や光熱費の高騰など厳しい状況の中、サービスを低下させることなく利用者ニーズに適応した運営を行っている。

## 6 指定管理者の財務の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産	8,816,722,885	9,479,161,217	9,922,812,556
流動資産	3,864,367,552	4,388,613,135	4,726,595,234
固定資産	4,952,355,333	5,090,548,082	5,196,217,322
負債	1,992,161,843	1,975,475,148	1,840,185,296
流動負債	362,815,804	453,049,847	394,754,113
固定負債	1,629,346,039	1,522,425,301	1,445,431,183
純資産	6,824,561,042	7,503,686,069	8,082,627,260
資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上高	4,668,363,907	5,132,169,041	5,238,131,948
経常利益	511,644,099	957,426,472	716,827,344

## 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自己資本比率 純資産/資産×100	77.4%	79.2%	81.5%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	29.2%	26.3%	22.8%
固定比率 固定資産/純資産×100	72.6%	67.8%	64.3%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1065.1%	968.7%	1197.4%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	58.6%	56.4%	54.5%
総資産回転率 売上高/資産×100	52.9%	54.1%	52.8%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	5.8%	10.1%	7.2%

## 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
令和4年度も新型コロナウイルスの影響による利用控え（特に通所リハビリテーション）等が生じたり、光熱費の高騰による経費の大幅な増加にも関わらず、利用者へのサービスを低下させることなく運営する事が出来たと考えています。次年度以降もコロナ感染症の影響や光熱費の増加等、運営を取り巻く環境は厳しいと想定されますが、サービスを低下させることの無いように安定した運営を目指します。
市の評価
長引く新型コロナウイルスの影響による通所利用者の減少や光熱費の高騰で介護サービスにとって厳しい状況が続いていますが、利用者のニーズに応じたサービスの提供に継続して取り組んでいただき、今後も超在宅強化型老健施設であることを強みとして、利用状況の向上、在宅復帰率の維持向上に向け、適切な運営に努めていただきたい。